

適用範囲 第1条

1. ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み 第2条

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
(1) 宿泊者名
(2) 宿泊日及び到着予定時刻
(3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
(4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等 第3条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約 第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否 第5条

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
(1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
(2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
(3) 宿泊客が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をなさるおそれがあると認められるとき。
(4) 宿泊客が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
(5) 宿泊客が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等(以下「暴力団」及び「暴力団員」とする)、又はその関係者、その他反社会勢力であるとき。
(6) 宿泊客が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
(7) 宿泊客が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき。
(8) 宿泊客が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
(9) 宿泊客が、宿泊施設もしくは宿泊施設社員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当請求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
(10) 宿泊客が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
(11) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないうとき。

宿泊客の契約解除権 第6条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権 第7条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をなさるおそれがあると認められるとき。
(2) 宿泊客が、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
(3) 宿泊客が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等(以下「暴力団」及び「暴力団員」とする)、又はその関係者、その他反社会勢力であるとき。
(4) 宿泊客が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
(5) 宿泊客が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき。
(6) 宿泊客が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
(7) 宿泊客が、宿泊施設もしくは宿泊施設社員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当請求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
(8) 宿泊客が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
(9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないうとき。
(10) ベッド等での寝たばこ、消防用設備等に対するいたづら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録 第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
(1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
(2) 外国人にあっては、パスポートをコピーさせていただきます。(国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日)
(3) 出発日及び出発予定時刻
(4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。
3. 当ホテルは、お預かりした個人情報(長谷川ホテル&リゾート株式会社の個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします)。

客室の使用時間 第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室をご利用いただく時刻(チェックインタイム)は、午後4時からとし、客室を空けていただく時刻(チェックアウトタイム)は午前10時とします。プラン特典等により異なる時刻が設定される場合にはそちらが優先されます。
2. 宿泊客が連続して宿泊される場合も第9条第1項の規定に従い、一時退室いただきます。

利用規則の遵守 第10条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

1. 客室には訪問客をお招きにならないでください。
2. ロビー及び客室内に次のようなものをお持ち込みにならないでください。
(1) 動物、鳥類(ペット類)
(2) 著しく悪臭を発するもの
(3) 発火又は引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある薬品
(4) 麻薬、非法薬物又はそれに類するもの
(5) 許可証のない銃砲、刀剣類
(6) 著しく多量な物品
3. ホテル内で賭博及び風紀を乱すような行為、他の宿泊客に迷惑を及ぼすような行為はしないでください。
4. 了解なく客室やロビーを事務所代わり等にご使用にならないでください。(客室の宿泊以外の利用はお断りします)
5. 許可なく客室内の現状を変更するような加工をしないでください。
6. 館内の諸設備及び諸物品についてのお断りがあります。
(1) その目的以外の用途にご使用にならないでください。
(2) ホテルの外へ持ち出さないでください。
(3) 他の場所に移動したり加工したりしないでください。
7. 廊下やロビー等に所持品を放置しないでください。
8. ホテル内で宿泊客に広告物を配布するような行為はしないでください。
9. 緊急事態あるいはしむを得ない事情の発しない限り、非常階段・屋上・機械室等客用部分以外の施設内に立ち入らないでください。
10. 未成年者のみの宿泊は、保護者の許可のない限り、お断りさせていただきます。
11. 不可抗力以外の理由により、建造物・備品その他の物品を損傷・汚染された場合は相当の修繕費を弁償していただきます。また、鍵を紛失された場合は1万円弁償していただきます。

浴場利用規則 第11条

1. 入れ墨又はタトゥーのある方のご利用をお断りさせていただきます。
2. 脱衣所での盗難は、責任を負いかねます。
3. 貴重品は貴重品ロッカーをご利用ください。

料金の支払い 第12条

1. 宿泊客が、支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けず。
4. 宿泊料金は前払い制となっております。

当ホテルの責任 第13条

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い 第14条

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い 第15条

1. 宿泊客が、フロントにお預けできる物品又は現金並びに貴重品(貴金属は含みません)の上限額は5万円までとします。
2. 宿泊客が、フロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品(貴金属は含みません)について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、5万円を限度としてその損害を賠償します。
3. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品(貴金属は含みません)であって、フロントにお預けにならないものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、5万円を限度としてその損害を賠償します。
4. 宿泊客が、手荷物やクリーニングサービスの利用で衣類をフロントに期間を定めず預け、一週間経過しても連絡無く引き取りに来なかった場合は、所有権を放棄したとみなして廃棄処分させていただきます。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管 第16条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
2. 宿泊客が、チェックアウトしたのち宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに保管の依頼なく置き忘れられていた物については、当日17時までに申し出がないときは、所有者が放棄したの物として処分いたします。
3. 第16条第1項の場合における宿泊客の手荷物の保管についての当ホテルの責任は、第16条第2項の規定に準じるものとします。

宿泊客の責任 第17条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1
宿泊料金等の算定方法
(第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係)

	内訳	税金(イ・ロ)の精算
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金(1)	イ ①の消費税
	追加料金(2)	ロ ③の消費税

* 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。
* 自治体によっては、その自治体が定める宿泊税がかかります。

別表第2
キャンセル料金(第6条第2項関係)

キャンセル通知を受けた日	不泊不着(連絡なし)	当日キャンセル	前日キャンセル	7日前キャンセル
キャンセル料金比率(宿泊料金に対し)	100%	80%	50%	20%

* %は基本宿泊料に対するキャンセル料金の比率です。
* 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)のキャンセル料金を取戻します。

Terms and Conditions of Accommodation Contract

Scope of Application Article1

- Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Moreover, any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and generally accepted practices.
- In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guests insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts Article2

- A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - Name of the Guest(s)
 - Dates of accommodation and estimated time of arrival
 - Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1)
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel
- In the case when the Guest requests during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of preceding Paragraph. It shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of Accommodation Contracts, etc. Article3

- A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
- When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges by the date specified by the Hotel.
- The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit Article4

- Notwithstanding the Provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- In the case when the Hotel has not requested the payment of a deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the date of the payment of deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted. It shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of Accommodation Contracts Article5

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
- When the Hotel is fully booked and no room is available.
- When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or acts against the public order or good morals in regard to his accommodation.
- When the Guest is severely intoxicated or in other cases where the Guest is thought likely to inconvenience other Guests.
- When the Guest is a member of or affiliated with an Prevention of Wrongful Acts by Organized Crime Groups (enacted March 1, 1992) or is affiliated with a member of such a designated group (these groups and members being hereafter referred to as "Organized Crime Groups" and "Members of Organized Crime Groups") or is a member of any other antisocial force or movement.
- When the Guest is a corporation or other organization which directs the business activities of Organized Crime Groups or Members of Organized Crime Groups.
- When the Guest is a corporation which includes a Members of an Organized Crime Groups among its officials.
- When the behavior of the Guest has created a significant inconvenience for other Guests.
- When the Guest engages in violence, threats, extortion, or coercive improper demands against the Hotel or its employees, or makes demands that place unreasonable burdens on them, or is known to have previously engaged in said behavior.
- When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
- When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities, or other unavoidable causes.

Right to Cancel Accommodation Contract by the Guest Article6

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
- In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- In the case when the Guest does not appear by 10 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel Article7

- The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:
 - When the Guest is deemed liable to conduct or has conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation.
 - When the Guest is severely intoxicated or in other cases where the Guest is thought likely to inconvenience other Guests.
 - When the Guest is a member of or affiliated with an organized crime group designated in the Law for the Prevention of Wrongful Acts by Organized Crime Groups (enacted March 1, 1992), or is affiliated with a member of such a designated group (these groups and members being hereafter referred to as "Organized Crime Groups" and "Members of Organized Crime Groups"), or is a member of any other antisocial force or movement.
 - When the Guest is a corporation or other organization which directs the business activities of Organized Crime Groups or Members of Organized Crime Groups.
 - When the Guest is a corporation which includes a Member of an Organized Crime Group among its officials.
 - When the behavior of the Guest has created a significant inconvenience for other Guests.
 - When the Guest engages in violence, threats, extortion, or coercive improper demands against the Hotel or its employees, or makes demands that place unreasonable burdens on them, or is known to have previously engaged in said behavior.
 - When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease.
 - When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities or other causes of force majeure.
 - When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the firefighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
- In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

Registration Article8

- The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - Name, age, sex, address and occupation of the Guest (s)
 - In the case of foreigners, permission to copy ID page of passport (nationality, passport number, port and date of entry in Japan)
 - Date and estimated time of departure
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel
- In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.
- The personal information collected by the Hotel shall be stored appropriately, based on the privacy policy of Hasegawa hotel & resort Co., Ltd.

The Duration of Guest Room Use Article9

- The check-in time when the Guests can use the cabins is after 4:00pm and the check-out time when the Guests must leave their cabins is 10:00am. If the different time is set due to certain accommodation plans, it will be preferentially applied.
- The Guests who stay consecutively also must leave their cabins temporarily according to Article 9-1.

Observance of Use Regulations Article10

The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

- Visitors are not permitted in guest rooms.
- The following items may not be brought into the Hotel:
 - Animals (pets)
 - Articles with an offensive odor
 - Gasoline, explosives, inflammable items, or dangerous chemicals
 - Narcotics, illegal drugs, or other substances
 - Illegally-owned guns or swords
 - Any items in extremely great quantities
- Do not create disturbances that annoy other Guests. Gambling is not permitted in the Hotel.
- Guest rooms and the lobby may not be used as offices or for commercial activities without the consent of management. Guest rooms are for lodging purposes only.
- Altering or rearranging guest room fixtures without permission is prohibited.
- In regards to equipment and fixtures on the premises:
 - Please refrain from using equipment and fixtures for purposes other than intended.
 - Please do not take equipment or fixtures out of the Hotel.
 - Removal or alterations of equipment or fixtures is prohibited.
- Personal belongings may not be left in the lobby or in hallways.
- Distributing advertising materials to other Guests in the Hotel is not permitted.
- Except in an emergency or in unavoidable circumstances, entering emergency stairwells, rooftop, maintenance facilities, or other employee-only areas is prohibited.
- Minors are not permitted to stay at the Hotel without parental or guardian consent.
- The management reserves the right to hold Guests responsible for damages, contamination, or loss caused to any part of the building, its furniture, or fixtures for reasons other than force majeure. Also, a charge of 10,000 yen will be levied for loss of the key.

Public Bath Use Regulations Article11

- Persons with tattoos are not permitted to use the public bath facilities.
- The Hotel shall accept no responsibility for theft or loss of valuables left in changing rooms.
- Please deposit valuables in the valuables locker.

Payment of Accommodation Charges Article12

- The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay are as listed in the Attached Table No. 1.
- Accommodation charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, coupons or credit cards, recognized by the Hotel at the front desk at the time of the arrival of the guest or upon request by the Hotel.
- Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.
- Accommodation Charges must be paid by the Guest in advance.

Liabilities of the Hotel Article13

- The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract or related agreements. However, the same shall not apply in a case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
- The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

Handling When Unable to Provide Contracted Rooms Article14

- The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles Article15

- The Guest may deposit goods, cash or valuables (excluding jewelry and precious metals) up to a maximum value of 50,000 yen at the front desk.
- The Hotel shall compensate the Guest within the limit of 50,000 yen for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables (excluding jewelry and precious metals) deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.
- The Hotel shall compensate the Guest within the limit of 50,000 yen for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables (excluding jewelry and precious metals) which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.
- When the Guest deposits hand luggage or articles of clothing for cleaning service at the front desk without specifying a time frame, the Hotel shall keep the article for one week, and after this time, if the Hotel has not received any contact, the Hotel will treat it as having been disposed by the owner.

Custody of Baggage and Belongings of the Guest Article16

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel prior to his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
- When the baggage or belongings of the Guest is found left behind after his check-out, without a request for safekeeping given to the Hotel by the owner, the Hotel shall keep the article until 5:00pm of the same day, and after this time, the Hotel will treat it as having been disposed by the owner.
- The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of Paragraph 1 of Article 16 (this Article) shall be assumed in accordance with the provision of Paragraph 2 of Article 16.

Liability of the Guest Article17

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1
Calculation method for Accommodation Charges, etc. (Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

	Item	Tax Calculation (a · b)
Total Amount to be paid by Guest	Accommodation Charges (1)	①Basic Accommodation Charge ②Taxes a. Consumption Tax
	Extra Charges (2)	③Meals & Drinks and Other Expenses ④Taxes b. Consumption Tax

※ Depending on the municipality, the municipality's accommodation tax is charged.

Attached Table No. 2
Cancellation Charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Day when Cancellation of Contract is Notified	No Show	Accom. Day	1 Day Prior	7 Day Prior
The Rate of Cancellation Charge	100%	80%	50%	20%

※ The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
※ When the number of days contracted is shortened, a cancellation charge for one day (the first day) shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.